


令和8年1月14日  
発注者責任を果たすための今後の建設生産・管理システムのあり方に関する懇談会  
業務・マネジメント部会（令和7年度 第1回）

# 成績評定点入力ミスの原因分析と対策等について

各地整の有識者委員会等における検証結果の報告

- 令和7年7月末に、近畿地方整備局において今年度公示した業務について、入札調書を見た参加業者から「自社の点数が低い」との指摘があった。
- 建設コンサルタント業務等の発注手続きにおいて、技術評価点の算出等に使用する過去の成績評定点に一部入力ミスがあることが判明。
- 地方整備局等においては8月4日(月)から、入札契約に関する手続きを一時延期し、契約手続きにおいて活用している令和2年度以降に完了している業務について、テクリスに登録している成績評定点が正しいかの確認作業を実施した。



国土交通省  
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

令和 7 年 8 月 8 日  
大臣官房技術調査課

### 建設コンサルタント業務等に係る入札契約に関する手続きの一時延期と再開について


一部の地方整備局における建設コンサルタント業務等（港湾空港関係を除く、以下同じ。）の発注手続きにおいて、技術評価点の算出等に使用する過去の業務成績評定点に一部入力ミスがあることが判明しました。

現在、各地方整備局等において、同様の入力ミスについて、点検確認中です。

そのため、現在進めている建設コンサルタント業務等の入札契約に関する手続きを令和7年8月4日（月）から一時延期しております。

過去の業務成績評定点が確認でき次第、入札契約に関する手続きを再開いたします。再開については個別に連絡いたします。

1. 対応状況  
延期期間：令和7年8月4日（月）から  
延期する手続き：指名通知、選定通知、特定通知、落札決定及び契約締結
2. 今後の対応  
過去の業務成績評定点が確認でき次第、入札契約に関する手続きを再開いたします。  
再開については個別に連絡いたします。



国土交通省  
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

令和 7 年 8 月 19 日  
大臣官房技術調査課

### 過去の建設コンサルタント業務等に係る入力ミスの確認結果と入札契約に関する手続き等の再開について

建設コンサルタント業務等（港湾空港関係を除く、以下同じ。）の発注手続きにおいて、技術評価点の算出等に使用する過去の業務成績評定点に一部入力ミスがあることが判明したため、令和7年8月4日（月）より、各地方整備局等における建設コンサルタント業務等の入札契約に関する手続きを一時延期しておりました。

今般、各地方整備局等において、技術評価点の算出等に影響がある入力ミスの点検が完了し、正しい値に修正ができましたので、8月18日（月）より順次、影響の有無の確認を行った上で入札契約に関する手続きを再開いたしました。再開にあたっては、個別に連絡いたします。

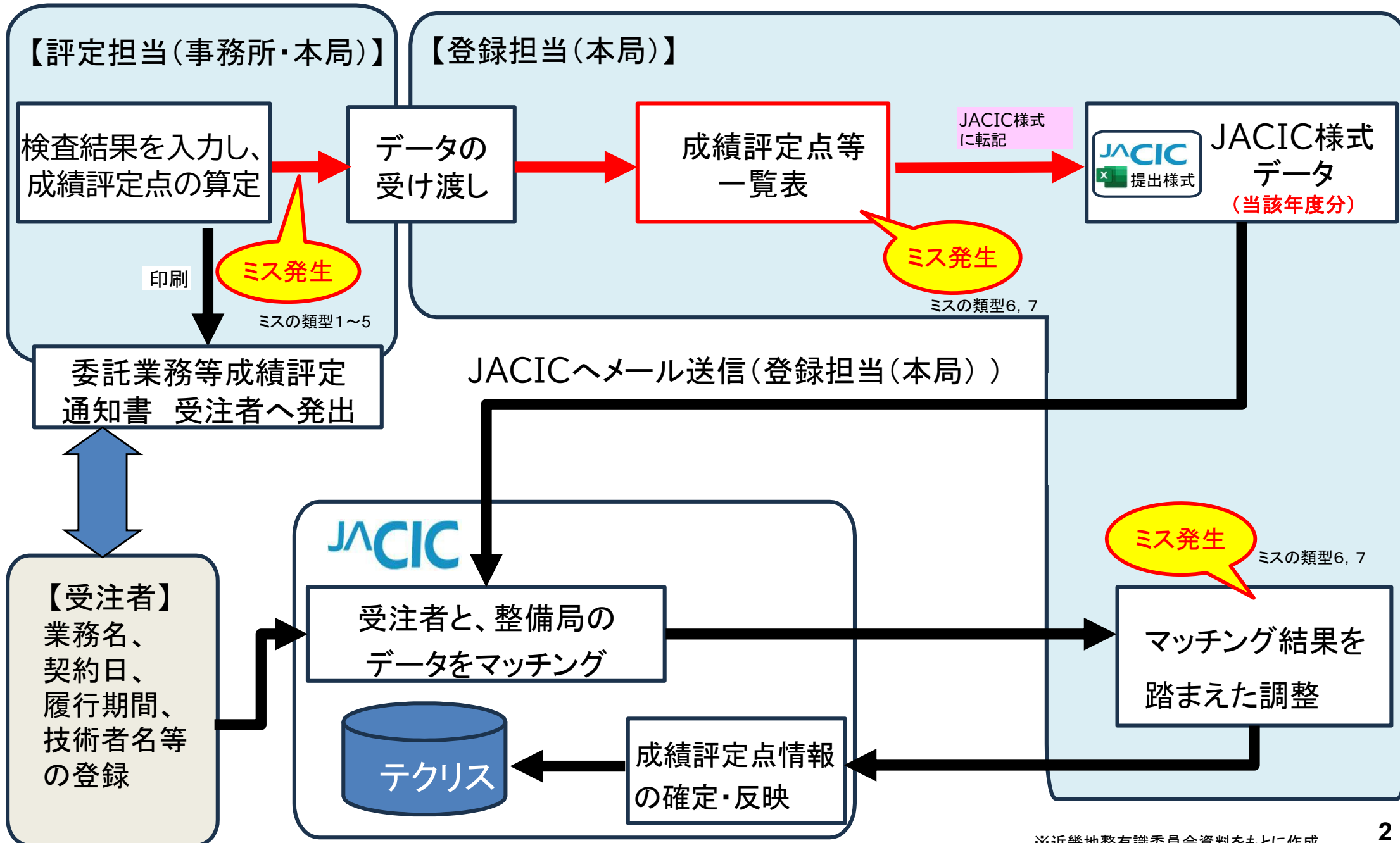
今後は、各地方整備局等において、これまでに契約した業務等について、入力ミスによる影響がないか確認するとともに、必要に応じて対応を検討していきます。また、各地方整備局等において、入力ミスの原因と対策等について、有識者委員会で検証していきます。

入力ミスの確認結果

確認対象業務件数：約61,000件  
そのうち入力ミスがあった業務件数：約510件（約0.83%）

# 成績評定点をデータベースへ登録する流れとミス発生箇所

各地方整備局等においてミスが発生していた作業過程



| ミスの類型            |   | 北海道 | 東北 | 関東 | 北陸 | 中部 | 近畿  | 中国 | 四国 | 九州 | 沖縄 | 国総研 | 地理院 |
|------------------|---|-----|----|----|----|----|-----|----|----|----|----|-----|-----|
| (事務所・本局)<br>発注担当 | ① 単純ミス<br>(タイプミス、データ貼り付けミス、入力漏れなど)                        |     |    |    |    | 7  | 95  |    | 29 | 20 | 12 | 7   | 24  |
|                  | ② 同一業務名等によるミス<br>(業務名が同じまたは類似したものがあって勘違いして入力)             |     |    |    |    |    | 14  |    |    |    |    |     |     |
|                  | ③ 作業途上の値を登録   |     | 9  |    |    |    | 59  | 5  | 7  | 3  |    |     |     |
|                  | ④ 減点措置をしたにも関わらず、減点前の数字を入力                                 |     |    |    |    |    | 7   |    |    |    |    |     |     |
|                  | ⑤ 再登録漏れ<br>(契約不適合による減点処置の反映漏れ、受注者指摘による技術者評定点を追加したが、再登録漏れ) |     |    | 2  |    |    | 10  |    |    |    |    |     |     |
| とりまとめ担当<br>(本局)  | ⑥ 単純ミス<br>(データ貼り付けミス、入力漏れ)                                | 10  |    |    | 2  | 1  | 77  | 49 |    | 8  | 61 |     |     |
|                  | ⑦ 同一業務名等によるミス<br>(エクセル関数で同じ業務名を検索してしまい誤入力)                |     |    |    |    |    | 103 |    |    | 3  |    |     |     |
| 合計               |   | 10  | 9  | 2  | 2  | 8  | 365 | 54 | 36 | 34 | 73 | 7   | 24  |

※同じ業務の中で複数種類のミスが見つかったものもあった

近畿地方整備局の有識者委員会においてまとめた資料(各地方整備局等の対策もこれらに当てはまる)

## 近畿地方整備局における建設コンサルタント業務等の 成績評定点の入力ミス事案の再発防止策等について(報告書概要)

### 1. 業務等の成績評定点の入力ミスの状況

- 令和7年7月、テクリスに登録している過去の成績評定点に一部入力ミスがあることが判明
- 令和2年度以降の完了業務についての入力ミス発生数は下表
- R2、R3は近畿独自システムを活用、R4からCCMSを活用したが、移行期にミスが多発
- 技術者評定点は、R4にR2、R3分をまとめて作業しており、その際ミスが多く発生

■表 完了年度別入力ミスの発生数

|                 | R2           | R3         | R4          | R5       | R6       | 合計           |
|-----------------|--------------|------------|-------------|----------|----------|--------------|
| 業務評定点のミス        | 6            | 9          | 17          |          |          | 32           |
| 技術者評定点のミス       | 141          | 72         | 114         | 3        | 3        | 333          |
| 合計<br>(※対象業務件数) | 147<br>(115) | 81<br>(50) | 131<br>(72) | 3<br>(2) | 3<br>(3) | 365<br>(242) |

### 2. ミスの発生原因等

- 365箇所 of ミスについて内容を精査した結果、ミスの発生原因、修正できなかった原因は、以下のとおり。
- ①手入力時の入力ミス
- ②CCMSの登録ルールの不徹底
  - ・出力した成績評定通知書自体を加工
  - ・作業値をそのまま登録
- ③照査技術者等の登録漏れ
- ④各々の担当が独自の手法で作業
- ⑤同一業務名の業務が多く、混乱が発生
- ⑥再登録ルールがなく、ミスを修正する仕組みがなかったこと
- ⑦企業側は自社の成績評定点のテクリス登録値を閲覧できず、誤りを認知できないこと

### 3. 再発防止の方向性

- ①総合評価における成績評定点の重要性を踏まえ、しっかりと再発防止策を実施
- ②CCMS導入後のミスの減少を踏まえて検討
- ③システム改善での対応を基本
- ④システム改善までの間の、マニュアルの整備等、当面の措置に取り組む
- ⑤企業側が自社の成績を確認できる仕組みも検討
- ⑥システム改善等、業務のDXを推進する担当組織を強化

### 4. 再発防止策

#### (1) 人材育成、体制強化

- ①研修を通じた成績評定点の取り扱いに関する継続的な教育、②システム改善に取り組み、業務のDX化を推進する組織体制の強化

#### (2) システム改善

##### 【人間による操作行為を最小化するシステム改善】

- CCMSとテクリスを連動させ、CCMSの登録がそのまま自動的にテクリスに反映するようにシステムを改善

##### 【運用を誤らない物理的な措置の導入】

- CCMSから出力した成績評定通知書自体を加工できない仕組みを導入

##### 【システム対応の追求】

- CCMSを特記仕様書と連動させ、対象技術者の種類が自動選択されるようシステムを変更

#### (4) 企業側が確認できる仕組み

- 企業側が自社成績のテクリス登録内容を確認できるようJACICに改善を依頼

#### (3) 当面の措置

##### 【業務フローの見直しとマニュアルの整備】

- 業務フローの見直しを行い、適切な登録作業を可能とするマニュアルを整備

##### 【同一業務名とならない措置の導入】

- 同一業務名が生じないよう、業務名の付け方についてルールを設定

##### 【速やかに再登録をする仕組みの構築】

- 成績評定点を見直した時は、速やかにテクリス再登録することをルール化
- 登録担当が的確に見直しを把握できるように業務フローを見直し

##### 【テクリス登録値を再確認する仕組みの導入】

- 毎年6月に過去4年分の成績評定点をJACICに登録することに変更
- 毎年7月末にテクリスの成績評定点に登録漏れ等がないか、確認



# 【参考】各地方整備局等における有識者委員会等の開催状況(予定含む)

| 組織名         | 開催日                      | 結果概要   |
|-------------|--------------------------|--|
| 北海道開発局      | 令和8年3月(予定)               |  |
| 東北地方整備局     | 令和8年3月(予定)               |  |
| 関東地方整備局     | 令和8年1月30日(予定)            |  |
| 北陸地方整備局     | 令和7年12月15日               | ミスの発生要因が単純ミス(JACICへの登録申請漏れ)であることが確認された。<br>提示した再発防止対策について了承された。                                  |
| 中部地方整備局     | 令和8年2月2日(予定)             |  |
| 近畿地方整備局     | ①令和7年9月29日<br>②令和7年11月6日 | すべてのミスについて偶発的なヒューマンエラーであることが確認された。<br>提示した再発防止対策について了承された。                                       |
| 中国地方整備局     | 令和8年1月19日(予定)            |  |
| 四国地方整備局     | 令和7年12月15日               | 入力ミスが恣意的に行われたものではないと確認された。<br>再発防止対策を着実に進めること、また、特にシステム改修は早急に進めるとともに、確実なチェック体制を構築して確認することを指導された。 |
| 九州地方整備局     | 令和7年12月16日               | 入力ミスが単純ミスによるもので恣意的なものではないことが確認された。<br>提示した再発防止対策について了承された。                                       |
| 沖縄総合事務局     | 令和8年1月15日(予定)            |  |
| 国土技術政策総合研究所 | 令和8年2月18日(予定)            |  |
| 国土地理院       | 令和8年3月(予定)               |  |

- 念のため、工事についても登録されている成績評定点が正しく登録されているか確認作業を行った
- 一部登録ミスがあったが、契約に影響するミスは無いことが確認された。
- ミスの発生要因は業務と同様に人による作業過程における登録ミスであり、各地方整備局等において検討された業務における対策を工事にも適用することを想定している。